

県庁激励会

第95回全国高等学校野球選手権記念大会出場校激励会

「赤鬼魂で頑張ってください」



嘉田知事から励ましの言葉

▲選抜メンバーは県庁の正面玄関で激励を受けた。

8月1日、朝9時から第95回全国高等学校野球選手権記念大会出場校激励会が滋賀県庁本館玄関前で行われた。選手紹介をはじめ、嘉田由紀子滋賀県知事からの激励の言葉、代表選手からの誓いの言葉などがあった。



「地域の方があつたからこそ」

嘉田由紀子 滋賀県知事

嘉田知事は激励の言葉として「雨が降りしきる中で熱戦に感動しました。夏の甲子園への初めての出場を喜んでいきます。この結果は選手自身の努力によるものですが、家族や地域などの協力があつたからこそです。赤鬼魂で頑張ってください。期待しています」と述べられた。

「県民に希望と勇気を与えた」

宇賀武 滋賀県議会議長

宇賀議長は「一丸となっている姿には感動を覚えました。県民に希望と勇気を与えてくれました。甲子園は全国の高校球児の憧れです。県大会で見せたさわやかなプレーで思う存分戦ってきてください」と選手たちを励まされた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

「自分たちの代で甲子園初勝利を」
主将 山中俊亮君(3-7)

激励を受けて主将の山中君は「甲子園では滋賀県の名に恥じないように戦います。まだ甲子園で勝利をあげたことはありません。自分たちの代で甲子園初勝利を目指します」と嘉田知事に向けて誓った。



▲主将の山中君は選手を代表し、嘉田知事に向けて甲子園で初勝利することを誓った。

多くの方の支援に感謝

善住喜太郎 校長先生

善住校長先生は「身に余る励ましの言葉をいただき、ありがとうございます。連日、多くの方にご支援をいただいていることを実感し、感謝しています。夢のような夏を過ごすことになりませんが、今は選手たちに夢を追わせまう」と感謝の念を込めて話された。



▲嘉田知事と握手を交わす選手たち

「今日は雨の船出になった」

監督 村中隆之先生

「船出なんだな」激励会を終えた監督の村中先生はこうつぶやかれた。今までは現実感がなく、ただ滋賀県大会が終わったという感覚だった。しかし、嘉田知事からの激励を受けて村中先生の気持ちを実感へと強く切り替わった。

「大事なときはいつも雨だった」と振り返る村中先生は「今日は雨の船出になった」と言い表された。村中先生はそんな雨天を恵みの雨だと考えた上で「選手たちには思う存分、勝ちに行つてほしい」と語気を強められた。